



平成17年3月期 第3四半期財務・業績の概況（連結）

平成17年2月16日

上場会社名 日本ピラー工業株式会社

（コード番号：6490 東証・大証1部）

（URL <http://www.pillar.co.jp/>）

代表者 代表取締役社長 岩波 清久
 問合せ先責任者 経理部長 辻 寛和

TEL：（06）6305-2801

1. 四半期業績の概況の作成等に係る事項

会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無：無
 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無：無
 連結及び持分法の適用範囲の異動の有無：無

2. 平成17年3月期第3四半期の財務・業績概況（平成16年4月1日～平成16年12月31日）

(1) 経営成績（連結）の進捗状況 （百万円未満の端数切捨て）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期（当期）純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
17年3月期第3四半期	14,548	12.5	2,474	-	2,505	-	1,470	-
16年3月期第3四半期	12,927	-	-	-	-	-	-	-
(参考)16年3月期	17,934		1,562		1,546		379	

	1株当たり 四半期（当期）純利益	潜在株式調整後1株当たり 四半期（当期）純利益
	円 銭	円 銭
17年3月期第3四半期	72 55	69 85
16年3月期第3四半期	-	-
(参考)16年3月期	15 15	-

(注) 1. 売上高を除く四半期経営成績の開示は当第1四半期より行っているため、前年同四半期実績および増減率については記載していません。

2. 売上高、営業利益等におけるパーセント表示は、対前年同四半期比増減率を示しております。

(2) 財政状態（連結）の変動状況

	総資産	株主資本	株主資本比率	1株当たり株主資本
	百万円	百万円	%	円 銭
17年3月期第3四半期	26,326	15,767	59.9	778 15
16年3月期第3四半期	-	-	-	-
(参考)16年3月期	22,180	14,649	66.0	719 83

【連結キャッシュ・フローの状況】

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
17年3月期第3四半期	1,183	309	1,559	3,743
16年3月期第3四半期	-	-	-	-
(参考)16年3月期	712	895	963	1,305

3. 平成17年3月期の連結業績予想（平成16年4月1日～平成17年3月31日）

	売上高	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円
通 期	19,500	2,900	1,700

(参考) 1株当たり予想当期純利益(通期) 81円 00銭

上記の予想には、本資料の発表日現在の将来に関する前提・見通し・計画に基づく予測が含まれております。世界経済・競合状況・為替の変動等にかかわるリスクや不確定要因により実際の業績が記載の予想数値と大幅に異なる可能性があります。

平成17年3月期 第3四半期経営成績及び財政状態の概況（連結） （9ヵ月間の累計）

経営成績(連結)の進捗状況

当第3四半期（平成16年4月1日から平成16年12月31日まで）は秋口から年末にかけて、輸出の伸び悩みや半導体、電子部品などIT関連業界で設備投資の抑制、生産調整の動きが見られるなどの日本経済は拡大基調から調整局面に入り、今後の景気の先行きは不透明な状態が続くものと思われます。

このような状況の中で、産業機器向けのシール部門におきましては保守業務の一括請負やノンアスベスト製品の拡販に努めてまいりました。

一方、半導体・液晶製造装置向けピラフロン製品は下期に入り半導体・液晶メーカーの在庫調整、設備投資抑制の影響から受注環境は厳しさを増してきておりますが、新規顧客の開拓を積極的に推進してまいりました。

損益面では収益の圧迫要因となる資材の値上げや価格競争激化の影響がありましたが、積極的に合理化・効率化などのコストダウン活動に取り組んでまいりました。

以上の結果、当第3四半期の業績につきましては売上高145億48百万円、営業利益24億74百万円、経常利益25億5百万円、当第3四半期の純利益は14億70百万円となりました。

財政状態(連結)の変動状況

当第3四半期の財政状態は総資産が前連結会計年度末に比べ41億45百万円増加し、263億26百万円となりました。この要因は流動資産の増加38億81百万円、固定資産の増加2億63百万円であります。また、負債の増加30億24百万円は主に社債および長期借入金19億91百万円など固定負債の増加19億64百万円、流動負債の増加10億60百万円によるものです。一方、株主資本は前連結会計年度末に比べ11億18百万円増加し、157億67百万円となりました。以上の結果、第3四半期の株主資本比率は前連結会計年度末の66.0%から59.9%に減少いたしました。

当第3四半期の営業活動によるキャッシュ・フローは11億83百万円となりました。この主な増加要因は税金等調整前四半期純利益と減価償却費であり、主な減少要因は売上債権、たな卸資産の増加ならびに法人税等の支払いであります。投資活動に使用されたキャッシュ・フローは生産設備の増強など3億9百万円となりました。財務活動によるキャッシュ・フローは主に社債の発行による収入19億93百万円、配当金の支払額3億24百万円などであります。

以上の結果、当第3四半期末の現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末に比べて24億38百万円増加し、37億43百万円となりました。

当期の連結業績見通し

当第3四半期の業績はおおむね計画どおりに推移しているため、通期（平成17年3月期）の業績は平成17年3月期中間決算発表時（平成16年11月17日）の計画と同額を見込んでおります。

要約四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

科目	当第3四半期末 (平成16年12月31日現在)		前 期 末 (平成16年3月31日現在)	
	金 額	構成比	金 額	構成比
(資 産 の 部)		%		%
流動資産	15,209	57.8	11,327	51.1
現金及び預金	2,076		1,640	
受取手形及び売掛金	8,823		7,822	
有 価 証 券	2,018		9	
た な 卸 資 産	2,017		1,490	
そ の 他	287		375	
貸 倒 引 当 金	14		10	
固定資産	11,117	42.2	10,853	48.9
有形固定資産	8,299	31.5	7,981	36.0
無形固定資産	170	0.6	209	0.9
投資その他の資産	2,647	10.1	2,663	12.0
資 産 合 計	26,326	100.0	22,180	100.0
(負 債 の 部)				
流動負債	6,222	23.6	5,162	23.3
支払手形及び買掛金	2,076		1,858	
短期借入金	1,286		1,363	
そ の 他	2,860		1,940	
固定負債	4,311	16.4	2,347	10.6
社債及び長期借入金	2,388		397	
退職給付引当金	1,485		1,527	
そ の 他	438		423	
負 債 合 計	10,534	40.0	7,510	33.9
(少 数 株 主 持 分)				
少 数 株 主 持 分	23	0.1	20	0.1
(資 本 の 部)				
資 本 金	3,262	12.4	3,262	14.7
資 本 剰 余 金	3,027	11.5	3,027	13.6
利 益 剰 余 金	9,735	37.0	8,647	39.0
その他有価証券評価差額金	389	1.4	362	1.6
為替換算調整勘定	34	0.1	43	0.2
自 己 株 式	611	2.3	606	2.7
資 本 合 計	15,767	59.9	14,649	66.0
負債・少数株主持分及び資本合計	26,326	100.0	22,180	100.0

要約四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

期 別 科 目	当第3四半期 〔自平成16年4月1日 至平成16年12月31日〕		前 期 〔自平成15年4月1日 至平成16年3月31日〕	
	金 額	百分比	金 額	百分比
売 上 高	14,548	100.0	17,934	100.0
売 上 原 価	8,933	61.4	12,266	68.4
売 上 総 利 益	5,615	38.6	5,668	31.6
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費	3,140	21.6	4,105	22.9
営 業 利 益	2,474	17.0	1,562	8.7
営 業 外 収 益	85	0.6	110	0.6
受 取 利 息 及 び 配 当 金	20		20	
そ の 他	64		89	
営 業 外 費 用	53	0.4	125	0.7
支 払 利 息	17		27	
そ の 他	36		97	
経 常 利 益	2,505	17.2	1,546	8.6
特 別 利 益	3	0.0	43	0.2
特 別 損 失	31	0.2	572	3.2
税 金 等 調 整 前 四 半 期 (当 期) 純 利 益	2,477	17.0	1,017	5.6
法 人 税、住 民 税 及 び 事 業 税	896	6.2	599	3.3
法 人 税 等 調 整 額	106	0.7	34	0.2
少 数 株 主 損 益	4	0.0	3	0.0
四 半 期 (当 期) 純 利 益	1,470	10.1	379	2.1

要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

期 別 科 目	当第3四半期	前 期
	〔自平成16年4月1日〕 〔至平成16年12月31日〕	〔自平成15年4月1日〕 〔至平成16年3月31日〕
	金 額	金 額
・営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期(当期)純利益	2,477	1,017
減価償却費	677	1,046
賞与引当金の増減額(減少：)	242	12
退職給付引当金の増減額(減少：)	42	49
役員退職引当金の増減額(減少：)	14	11
受取利息及び受取配当金	20	20
支払利息	17	27
役員賞与	58	60
有形固定資産除却損	32	62
売上債権の増減額(増加：)	1,003	909
たな卸資産の増減額(増加：)	524	241
仕入債務の増減額(減少：)	215	43
未払消費税等の増減額(減少：)	53	113
その他の	110	324
小 計	1,601	1,838
利息及び配当金の受取額	19	25
利息の支払額	17	27
法人税等の支払額及び還付額(純額)	419	1,124
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,183	712
・投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の売却による収入	-	744
有形・無形固定資産の取得による支出	342	1,450
その他の	32	188
投資活動によるキャッシュ・フロー	309	895
・財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(減少：)	99	37
長期借入による収入	100	300
長期借入金の返済による支出	103	288
社債の発行による収入	1,993	-
配当金の支払額	324	340
自己株式の取得による支出	4	596
その他の	1	1
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,559	963
・現金及び現金同等物に係る換算差額	5	19
・現金及び現金同等物の増減額(減少：)	2,438	1,165
・現金及び現金同等物の期首残高	1,305	2,470
・現金及び現金同等物の四半期末(期末)残高	3,743	1,305

生産、受注及び販売の状況

1. 生産高

(単位：百万円)

	当第3四半期		前期	
	金額	構成比	金額	構成比
メカニカルシール	3,853		5,290	
グランドパッキン・パーチカルガスケット	2,501		2,983	
ピラフロン	7,583		8,673	
合計	13,938		16,947	

2. 受注高

(単位：百万円)

	当第3四半期		前期	
	受注高	受注残高	受注高	受注残高
メカニカルシール	4,399	961	4,933	642
グランドパッキン・パーチカルガスケット	2,741	185	3,349	190
ピラフロン	7,598	876	9,179	944
合計	14,739	2,023	17,462	1,776

3. 販売高

(単位：百万円)

	当第3四半期		前期	
	金額	構成比	金額	構成比
流体制御関連機器事業				
メカニカルシール	4,080	28.0%	5,110	28.5%
グランドパッキン・パーチカルガスケット	2,746	18.9%	3,337	18.6%
ピラフロン	7,666	52.7%	9,411	52.5%
計	14,492	99.6%	17,859	99.6%
その他事業	55	0.4%	75	0.4%
連結売上高	14,548	100.0%	17,934	100.0%